

マイナンバーカードを活用した タクシー運賃助成事業の試行結果

目次

1. 概要等.....	2
(1) 概要.....	2
2. 登録状況.....	3
3. 利用状況.....	4
4. 利用者アンケート.....	6
(1) アンケート実施概要.....	6
(2) アンケート結果.....	7
5. 乗務員アンケート結果.....	14
(1) アンケート実施概要.....	14
(2) アンケート結果.....	14
6. まとめと今後の予定.....	17
(1) まとめ.....	17
(2) 今後の予定.....	17

1. 概要等

(1)概要

○目的	個人番号カードの利活用および高齢者等交通弱者の移動支援策として、利用登録者のタクシー利用にかかる運賃の一部を助成することにより、負担額の軽減を図り、外出促進と移動円滑化を図る
○スケジュール	令和6年度 システム設計・試行（1月31日～3月31日） 令和7年度 試行結果の分析、検証の後、本格実施

チラシ（青梅市交通政策課作成）

マイナンバーカードを活用した タクシー運賃助成事業【試行】

この事業は、利用する前に市役所での利用登録が必要です。

■ 試行対象者
対象地区に住所があり、下記①～④のいずれかに該当する方

対象地区	対象要件※本人がお越しください	利用登録申請時の持ち物
吹上 大門 塩船 谷野 木野下 今寺 野上町 東青梅 根ヶ布 師岡町 河辺町	①年齢が満75歳以上の方 ②年齢が満65歳以上の方で、 運転免許証をお持ちでない方 ③免許返納などを済ませた、 運転経歴証明書をお持ちの方 ④妊産婦の方 (妊娠中または 出産後1年以内の女性)	本人の マイナンバーカード 本人の マイナンバーカード 運転経歴証明書 本人の マイナンバーカード 母子健康手帳

■ 受付・試行期間
令和7年1月31日（金）から3月31日（月）まで

■ 助成が受けられる時間
午前7時の乗車（利用開始）から午後7時の乗車まで

■ 問合せ・利用登録受付窓口
青梅市市民安全部交通政策課（市役所本庁舎5階）
（電話）0428-22-1111（内線）2557
（受付）平日のみ 午前8時30分から午後5時まで

利用登録

■ 利用登録にかかる注意事項

- 必ず、マイナンバーカードをお持ちの本人がお越しください。
- 登録の際、マイナンバーカードを交付した時に設定した4ケタの暗証番号が必要になります。
- 登録完了後、すぐにタクシー運賃助成を利用することができます。

助成内容

■ 助成回数
1日2回、試行期間中計10回まで

■ 助成金額

- 助成希望者が1人で乗車した場合
1回の乗車につき、運賃の2分の1の額を助成します。
ただし、1回の乗車につき1,000円を上限とします。
- 助成希望者が2人以上で乗車した場合
1回の乗車につき、1人あたり500円を上限に助成します。

例：メーター表示の運賃が800円の時…

助成希望者1人が乗車した場合
800円の半額である
400円を市が助成します。

助成希望者2人が乗車した場合
1人あたり500円×2人分
800円を市が助成します。
※助成上限額1,000円と
助成額との差額200円を
受け取ることはできません。

助成希望者1人と
半額希望者1人が乗車した場合
800円の半額である
400円を市が助成します。

例：タクシーメーターの運賃が1,900円の時…

助成希望者1人が乗車した場合
1,900円の半額である
950円を市が助成します。

助成希望者2人が乗車した場合
1人あたり500円×2人分
1,000円を市が助成します。

助成希望者が一緒に乗ると、
よりお安く移動できます！

助成希望者4人が乗車した場合
1人あたり500円×4人分
1,900円を市が助成します。
※助成上限額1,000円と
助成額との差額100円を
受け取ることはできません。

※メーター表示の運賃には迎車・予約料も含まれ、助成の対象となります。

利用方法

乗車時は忘れずに、登録手続きを済ませた
マイナンバーカードをお持ちください

① タクシーを
予約する

○下記タクシー事業者に連絡するか、
市内の駅や病院に待機している下記タクシー
事業者の車両をご利用ください。

○予約時に「マイナンバーカードの運賃助成」を
利用することを伝えてください。

▲乗車前に運賃の支払いを済ませた場合、
助成は受けられません。

▲対象事業者以外の事業者、営業所のタクシーを
ご利用の場合、助成は受けられません。

▲アプリで予約や配車した場合、また、アプリで
乗車前に決済した場合、助成は受けられません。

【タクシー運賃助成事業 対象事業者】 京王自動車青梅営業所
予約電話番号：0428-22-2612（青梅小作地区無線センター）

② タクシーに
乗車する

○乗車したら、まず、
「マイナンバーカードの運賃助成」を利用する
ことを乗務員にお伝えください。

○乗務員が端末を用意しますので、助成希望者は
全員、マイナンバーカードを端末にタッチして
ください。

○タッチが終わったら、行き先を伝えてください。

▲1度タッチしたものの取り消し、乗車時以外の
タッチはできません。

③ タクシーの
運賃を支払う

○乗務員がメーターに示された運賃をもとに、
端末で助成後の運賃を計算し、お示しします。
端末に示された金額をお支払いください。

○マイナンバーカード、手荷物など、忘れ物が
ないことを確認し、タクシーを降りてください。

Q & A

① 助成を受ける際に、乗り降りの場所に制限はありますか？
乗車地または降車地が青梅市内であれば、助成を受けられます。

② 登録済みマイナンバーカードを忘れた場合、助成は受けられますか？
助成を受けることはできません。

③ 助成希望者と助成を希望しない人が、同じタクシーに乗ることはできますか？
一緒に乗ることができます。

④ 複数人で乗車する場合、助成後の運賃の支払いはどうすれば良いですか？
普段のタクシーの利用と同じように、1人でまとめて支払うことも、
複数人が出あって支払うこともできます。

⑤ 他の割引との併用はできますか？
障がい者割引などの割引と併用することができます。

⑥ マイナンバーカードにかかる取得、紛失、盗難などの手続きを知りたい。
青梅市役所市民部市民課までお問い合わせください。

⑦ 支払い方法に制約はありますか？
現金や電子マネーなど、事業者が用意した方法で支払うことができます。

⑧ 試行期間中に住所や名字が変更となった場合、届け出る必要はありますか？
届け出る必要はありません。

⑨ 試行期間中に利用登録を解除したい場合、届け出る必要はありますか？
手続きのご案内がありますので、下記担当までお問い合わせください。

⑩ 試行期間終了後、残り回数があったとしても、助成を受けることはできますか？
助成を受けることはできません。

⑪ 試行期間中に対象地区を拡大する予定はありますか？
試行期間中に対象地区を拡大する予定はありません。本格実施では、市内全域を
対象とする予定です。

■ 問合せ・利用登録受付窓口
青梅市市民安全部交通政策課（市役所本庁舎5階）
（電話）0428-22-1111（内線）2557
（受付）平日のみ 午前8時30分から午後5時まで

2. 登録状況

○以下のとおり推移しました。

○要件別登録者数では75歳以上の方の登録が最も多く、週別登録者数では、事業開始後の平日6日間の登録が全体の6割近く(56.6%)を占めています。

要件別登録者数

要件	割合
①年齢が75歳以上の方	83.6%
②年齢が満65歳以上の方で、運転免許証をお持ちでない方	12.7%
③免許返納などを済ませた、運転経歴証明書をお持ちの方	0.2%
④妊産婦の方（妊娠中または出産後1年以内の女性）	3.5%

週別登録者数

	合計	要件①	要件②	要件③	要件④
1月31日	84	71	11	1	1
2月3日から7日まで	161	133	21	0	7
2月10日から14日まで	52	41	11	0	0
2月17日から21日まで	45	39	3	0	3
2月24日から28日まで	42	37	4	0	1
3月3日から7日まで	27	22	3	0	2
3月10日から14日まで	17	15	1	0	1
3月17日から21日まで	4	4	0	0	0
3月24日から28日まで	1	0	1	0	0
3月31日	0	0	0	0	0
合計	433	362	55	1	15

56.6%

全登録者数に対する事業開始後の平日6日間の登録者数の割合

$$(84 + 161) / 433 = 56.6\%$$

3. 利用状況

○以下のとおり推移しました。

○週別利用件数のうち、助成利用者数は、タクシーを利用した際に1度に助成を申請した人数です。2人以上が同時に助成を申請した件数は、全体の18.1%でした。

週別利用件数

	合計	助成利用者数				要件別利用者数			
		1人	2人	3人	4人	①	②	③	④
1月31日から2月2日まで	19	15	4	0	0	18	1	0	0
2月3日から9日まで	106	70	30	6	0	94	9	0	3
2月10日から16日まで	91	75	16	0	0	81	9	0	1
2月17日から23日まで	143	117	26	0	0	127	15	0	1
2月24日から3月2日まで	127	116	8	3	0	114	11	0	2
3月3日から9日まで	145	127	18	0	0	123	18	0	4
3月10日から16日まで	131	109	22	0	0	116	12	0	3
3月17日から23日まで	147	129	18	0	0	128	17	0	2
3月24日から30日まで	149	115	34	0	0	130	17	0	2
3月31日	51	35	16	0	0	44	7	0	0
合計	1109	908	192	9	0	975	116	0	18
(割合)		81.9%	17.3%	0.8%	0.0%	87.9%	10.5%	0.0%	1.6%
		18.1%							

○回数別利用者数について、今回登録した方のうち、1回以上助成を利用した方は60.3%でした。このことから、週2回以上などの定期的な利用より、機会があった際にタクシーを利用することの方が多いと思われます。また、1回も利用がなかった方が全体の39.7%を占めました。

回数別利用者数

回数	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	合計
人数	172人	56人	55人	23人	26人	25人	6人	16人	14人	15人	25人	433人
割合	39.7%	12.9%	12.7%	5.3%	6.0%	5.8%	1.4%	3.7%	3.2%	3.5%	5.8%	100.0%

1回以上利用

261人

60.3%

6回以上利用

76人

17.6%

○助成を利用した方が端末にタッチした時間を分析したところ、利用時間帯が多いのは10時台、11時台でした。一方、7時台、17時台や18時台の利用は少ないことから、登録要件対象の方のタクシー利用が、日中に多いことが伺えます。

時間帯別利用件数

時間帯	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台
件数	11件	69件	104件	146件	132件	118件
割合	1.1%	6.9%	10.3%	14.5%	13.1%	11.7%
	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台
	109件	104件	81件	73件	32件	28件
	10.8%	10.3%	8.0%	7.3%	3.2%	2.8%

○助成を利用した方の利用料金(助成額を引く前の額)について分析したところ、最も利用が多いのは1,000円以上2,000円未満で、60.7%でした。単純に2,000円未満の金額を距離運賃に置き換えた場合、出発地から目的地まで概ね4km以内の利用が全体の87.3%を占めています。

利用料金別件数

利用料金	1,000円未満	1,000円台	2,000円台	3,000円台	4,000円台	5,000円以上
件数	268件	611件	98件	20件	7件	3件
割合	26.6%	60.7%	9.7%	2.0%	0.7%	0.3%
	87.3%					

(参考) 京王自動車(株)青梅営業所の運賃

①距離運賃	初乗り 1.091km 500円、以後 233mごとに 100円加算
②時間距離併用運賃	時速 10Km以下で走行した場合、1分 25秒ごとに 100円
③迎車料金・予約料金	迎車料金：1回 400円(時間指定予約の場合、別途 500円)
④障がい者割引	1割引※当該手帳を提示した場合に限る
⑤遠距離割引	9,000円を超える金額について 1割引

4. 利用者アンケート

(1) アンケート実施概要

- 本格実施を検討するうえでの参考にするため、利用者アンケートを実施しました。アンケート票は下図のとおりです。
- 試行中、乗務員から利用者に手で渡し、40票回収しました。

乗務員アンケート票

青梅市高齢者等タクシー運賃助成事業に関するアンケート	
～本アンケートの回答は、本事業に利用登録された方のみを対象とします～ 本事業について、今後、本格（通年）実施するにあたり、ご利用の皆さまのご意見を参考にしたいと思ひます。なお、このアンケートは青梅市交通政策課と青梅市公共交通協議会が共同で実施し、青梅市公共交通協議会の事務支援を受託している株式会社アルメックが集計を行います。 回答後は封筒にお入れいただき、投函してください。ご協力、よろしくお願ひいたします。 このアンケートはインターネットでも回答できます。 右の二次元コードからアクセスしてください。 各質問項目 □：あてはまる選択肢にチェックを入れてください	
1 対象要件や性別を教えてください。 ① お住いの地区 () 町 () 丁目 □ 年齢満75歳以上の方 □ 免許返納を済ませた、運転経歴証明書をお持ちの方 ② 対象要件 □ 年齢満65歳以上の方で、 □ 妊産婦の方 運転免許書をお持ちでない方 (妊産婦または出産後1年以内の女性) ③ 性別 □ 男性 □ 女性 □ その他 □ 無回答 ④ 運転免許 □ 所持している □ 所持していたが返納した □ 所持していない	
2 今回のタクシーのご利用について、教えてください。 ① 乗車日時 () 月 () 日 (午前 ・ 午後) 時頃乗車 ② 乗車人数 合計 () 人 そのうち、マイナンバーカードをタッチした人数 () 人 □ 迎車もしくは予約した □ 待ち時間はなかった ③ 待ち時間 □ 5分未満 □ 10分未満 □ 15分未満 □ 15分以上 ④ 出発地 □ 自宅 □ 駅 □ タクシー乗り場 (病院など) □ その他 () ⑤ 目的地 □ 自宅 □ 駅 □ タクシー乗り場 (病院など) □ その他 () ⑥ 所要時間 □ 10分未満 □ 20分未満 □ 30分未満 □ 30分以上 ⑦ 利用目的 (複数回答可) □ 買い物 □ 医療施設の利用 (病院など) □ 文化施設の利用 (図書館など) □ 自宅への帰路 □ 金融機関、郵便局の利用 □ 運動施設の利用 □ 通勤・通学 □ 公共施設の利用 (公民館など) □ その他 ()	
3 本事業について、以下の項目について教えてください。 ① 市役所での事前登録 □ 簡単だった □ 難しかった □ どちらでもない ② タクシーの電話予約 □ すぐつながった □ つながりにくかった □ どちらでもない □ 電話予約しなかった ③ 助成の申し出 □ 簡単だった □ 難しかった □ どちらでもない ④ 運賃の支払い □ 簡単だった □ 難しかった □ どちらでもない 【裏面もご回答ください】	
4 今回の移動について、本事業がなかった場合、どの交通手段を利用しましたか？ (複数回答可) □ タクシー □ 鉄道 □ 路線バス □ 自家用車 □ バイク □ 自転車 □ 徒歩 □ その他 () □ 今回は移動しなかった 5 以下の各交通手段について、普段の利用状況と比較して、本事業期間中 (1月31日から3月31日まで) の利用回数に変化はありましたか？ (見込みも含めてご回答ください) ① タクシー □ 増えた □ 減った □ 変わらない □ 普段は利用していない ② 鉄 道 □ 増えた □ 減った □ 変わらない □ 普段から利用していない ③ 路線バス □ 増えた □ 減った □ 変わらない □ 普段から利用していない ④ 自家用車 □ 増えた □ 減った □ 変わらない □ 普段から利用していない ⑤ バイク □ 増えた □ 減った □ 変わらない □ 普段から利用していない ⑥ 自 転 車 □ 増えた □ 減った □ 変わらない □ 普段から利用していない ⑦ 徒 歩 □ 増えた □ 減った □ 変わらない 6 今後、本事業が本格（通年）実施した場合、利用しますか？理由も含めて、教えてください。 □ 利用する □ 利用しない □ わからない 理由 7 この助成事業について、ご意見やご感想がありましたら教えてください。 8 その他、市内の公共交通に関するご意見などがありましたらご自由にお書きください。	
アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。 記入後は、令和7年4月7日（月）までに、このアンケートが入った封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。（切手は必要ありません） 【回答および返送に関する問い合わせ先】 株式会社アルメック 青梅市高齢者等タクシー運賃助成事業調査係 電話 03-3353-3203（直通） 青梅市 市民安全部 交通政策課 交通政策係 電話 0428-22-1111（内線 2557）	

(2)アンケート結果

○お住いの地区は「河辺町7丁目」が最も多く20.0%で、「師岡町2丁目」の12.5%が続きます。いずれも、鉄道と路線バスのサービス圏外のうち人口密度が40人/ha以上の地区です。

町別では「河辺町」が最も多く45.0%で、「師岡町」の17.5%が続きます。

1-①お住いの地区		〔SA〕	
項目		実数	割合
青梅市 河辺町	1丁目	2	5.0%
	2丁目	0	0.0%
	3丁目	0	0.0%
	4丁目	1	2.5%
	5丁目	0	0.0%
	6丁目	3	7.5%
	7丁目	8	20.0%
	8丁目	2	5.0%
	9丁目	2	5.0%
	無回答	0	0.0%
	計	18	45.0%
師岡町	1丁目	1	2.5%
	2丁目	5	12.5%
	3丁目	1	2.5%
	4丁目	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	7	17.5%
大門	1丁目	1	2.5%
	2丁目	0	0.0%
	3丁目	2	5.0%
	無回答	0	0.0%
根ヶ布	計	3	7.5%
	1丁目	0	0.0%
	2丁目	2	5.0%
	無回答	1	2.5%
東青梅	計	3	7.5%
	1丁目	1	2.5%
	5丁目	1	2.5%
	無回答	0	0.0%
今寺	計	2	5.0%
	4丁目	2	5.0%
	谷野	1	2.5%
	吹上	1	2.5%
無回答		3	7.5%
合計(人)		40	100%

○対象要件は「年齢満75歳以上の方」が最も多く67.5%で、「年齢満65歳以上の方で、運転免許証をお持ちでない方」の20.0%が続きます。

1-②対象要件		〔SA〕	
項目	実数	割合	
年齢満75歳以上の方	27	67.5%	
年齢満65歳以上の方で、運転免許証をお持ちでない方	8	20.0%	
免許返納を済ませた、運転経歴証明書をお持ちの方	3	7.5%	
妊産婦の方	1	2.5%	
無回答	1	2.5%	
合計(人)	40	100%	

○性別は「女性」が80.0%、「男性」が20.0%です。

運転免許は「所持していない」が45.0%で、「所持していたが返納した」が42.5%です。
あわせて87.5%です。

1-③性別		〔SA〕	
項目	実数	割合	
男性	8	20.0%	
女性	32	80.0%	
その他	0	0.0%	
回答しない	0	0.0%	
無回答	0	0.0%	
合計(人)	40	100%	

1-④運転免許		〔SA〕	
項目	実数	割合	
所持している	3	7.5%	
所持していたが返納した	17	42.5%	
所持していない	18	45.0%	
無回答	2	5.0%	
合計(人)	40	100%	

○乗車日は以下のとおりです。

2-①-(1)乗車日			〔SA〕	
項目	実数	割合		
2月 4日 火	1	2.5%		
2月 6日 木	1	2.5%		
2月 18日 火	1	2.5%		
2月 20日 木	1	2.5%		
2月 21日 金	2	5.0%		
2月 22日 土	2	5.0%		
2月 26日 水	3	7.5%		
2月 28日 金	1	2.5%		
3月 1日 土	1	2.5%		
3月 2日 日	2	5.0%		
3月 3日 月	2	5.0%		
3月 4日 火	2	5.0%		
3月 5日 水	4	10.0%		
3月 6日 木	1	2.5%		
3月 12日 水	2	5.0%		
3月 16日 日	3	7.5%		
3月 18日 火	2	5.0%		
3月 23日 日	1	2.5%		
3月 25日 火	1	2.5%		
3月 26日 水	1	2.5%		
3月 28日 金	2	5.0%		
無回答	4	10.0%		
合計(人)	40	100%		

○乗車時間は「午前」が45.0%、「午後」が47.5%で、「午前」は9時前後が多く、「午後」は1時頃から3時頃までが多い状況にあります。

2-①-(2)乗車時間

〔SA〕

項目	実数	割合
午前		
7 時頃	0	0.0%
8 時頃	2	5.0%
9 時頃	6	15.0%
10 時頃	3	7.5%
11 時頃	0	0.0%
12 時頃	2	5.0%
無回答	5	12.5%
午前 計	18	45.0%

項目	実数	割合
午後		
1 時頃	5	12.5%
2 時頃	3	7.5%
3 時頃	5	12.5%
4 時頃	3	7.5%
5 時頃	2	5.0%
6 時頃	0	0.0%
7 時頃	0	0.0%
無回答	1	2.5%
午後 計	19	47.5%
無回答	3	7.5%
合計(人)	40	100%

○乗車人数は「1人」が最も多く60.0%で、「2人」の27.5%が続きます。

2人で乗車した11件についてみると、うち1人がマイナカードをタッチしたケースは8件で、2人ともタッチしたケースは3件です。

2-②乗車人数

〔SA〕

項目	内マイナカードをタッチした人	実数(件)	割合
1人	1人	20	50.0%
	無回答	4	10.0%
	計	24	60.0%
2人	1人	8	20.0%
	2人	3	7.5%
	無回答	0	0.0%
	計	11	27.5%
3人	1人	1	2.5%
	2人	1	2.5%
	3人	1	2.5%
	無回答	0	0.0%
	計	3	7.5%
無回答		2	5.0%
合計(人)		40	100%

○待ち時間は「迎車もしくは予約した」が最も多く47.5%です。

迎車もしくは予約をしなかった方の待ち時間は、「待ち時間はなかった」が最も多く22.5%、「10分未満」20.0%が続きます。また、15分以上待ったとの回答もありました。

2-③待ち時間

〔MA〕

項目	実数	割合
迎車もしくは予約した	19	47.5%
待ち時間はなかった	9	22.5%
5分未満	1	2.5%
10分未満	8	20.0%
15分未満	0	0.0%
15分以上	2	5.0%
無回答	1	2.5%
合計(人)	40	100%
合計(件・無回答除く)	39	-

○出発地と目的地は、ともに「自宅」が最も多く、50.0%と42.5%です。

自宅以外では出発地の場合は「駅」の32.5%、目的地の場合は「タクシー乗り場(病院など)」の40.0%がそれぞれ続きます。

○OD(出発地と目的地の組み合わせ)でみると、「自宅▶タクシー乗り場(病院など)」が最も多く40.0%で、「駅▶自宅」の27.5%が続きます。

2-④出発地			〔SA〕			2-⑤目的地			〔SA〕		
項目	実数			割合		項目	実数			割合	
自宅	20			50.0%		自宅	17			42.5%	
駅	13			32.5%		駅	3			7.5%	
タクシー乗り場(病院など)	2			5.0%		タクシー乗り場(病院など)	16			40.0%	
その他	4			10.0%		その他	3			7.5%	
無回答	1			2.5%		無回答	1			2.5%	
合計(人)	40			100%		合計(人)	40			100%	

項目	実数	2-⑤目的地				無回答	合計(人)
		1	2	3	4		
2-④出発地		自宅	駅	タクシー乗り場(病院など)	その他		
自宅		1	2	16	1	0	20
駅		11	0	0	2	0	13
タクシー乗り場(病院など)		2	0	0	0	0	2
その他		3	1	0	0	0	4
無回答		0	0	0	0	1	1
合計(人)		17	3	16	3	1	40

項目	割合	2-⑤目的地				無回答	合計(人)
		1	2	3	4		
2-④出発地		自宅	駅	タクシー乗り場(病院など)	その他		
自宅		2.5%	5.0%	40.0%	2.5%	0.0%	50.0%
駅		27.5%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	32.5%
タクシー乗り場(病院など)		5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%
その他		7.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
無回答		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.5%
合計(人)		42.5%	7.5%	40.0%	7.5%	2.5%	100%

○所要時間は「10分未満」が最も多く62.5%で、「20分未満」の22.5%が続きます。

2-⑥所要時間			〔SA〕		
項目	実数			割合	
10分未満	25			62.5%	
20分未満	9			22.5%	
30分未満	3			7.5%	
30分以上	0			0.0%	
無回答	3			7.5%	
合計(人)	40			100%	

○利用目的は「医療施設の利用(病院など)」が最も多く52.5%で、「自宅への帰路」の45.0%、「買い物」の27.5%が続きます。

2-⑦利用目的		〔MA〕	
項目	実数	割合	
買い物	11	27.5%	
自宅への帰路	18	45.0%	
通勤・通学	1	2.5%	
医療施設の利用(病院など)	21	52.5%	
金融機関、郵便局の利用	2	5.0%	
公共施設の利用(市民センターなど)	2	5.0%	
文化施設の利用(図書館など)	2	5.0%	
運動施設の利用	1	2.5%	
その他	7	17.5%	
無回答	1	2.5%	
合計(人)	40	100%	
合計(件・無回答除く)	65	-	

○本事業について、①市役所での事前登録、③助成の申し出、④運賃の支払いは、すべて「簡単だった」が最も多く、いずれも90%を越えています。

○②タクシーの電話予約は、「すぐつながった」が最も多く57.5%で、「電話予約しなかった」の25.0%が続きます。

3-①市役所での事前登録		〔SA〕	
項目	実数	割合	
簡単だった	39	97.5%	
難しかった	0	0.0%	
どちらでもない	1	2.5%	
無回答	0	0.0%	
合計(人)	40	100%	

3-②タクシーの電話予約		〔SA〕	
項目	実数	割合	
すぐつながった	23	57.5%	
つながりにくかった	1	2.5%	
どちらでもない	3	7.5%	
電話予約しなかった	10	25.0%	
無回答	3	7.5%	
合計(人)	40	100%	

3-③助成の申し出		〔SA〕	
項目	実数	割合	
簡単だった	38	95.0%	
難しかった	0	0.0%	
どちらでもない	1	2.5%	
無回答	1	2.5%	
合計(人)	40	100%	

3-④運賃の支払い		〔SA〕	
項目	実数	割合	
簡単だった	37	92.5%	
難しかった	0	0.0%	
どちらでもない	2	5.0%	
無回答	1	2.5%	
合計(人)	40	100%	

○今回の移動で本事業がなかった場合の交通手段は、「タクシー」が最も多く65.0%で、「徒歩」の40.0%、「路線バス」の30.0%が続きます。

		〔MA〕	
項目	実数	割合	
タクシー	26	65.0%	
鉄道	2	5.0%	
路線バス	12	30.0%	
自家用車	3	7.5%	
バイク	0	0.0%	
自転車	3	7.5%	
徒歩	16	40.0%	
その他	0	0.0%	
今回は移動しなかった	0	0.0%	
無回答	4	10.0%	
合計(人)	40	100%	
合計(件・無回答除く)	62	-	

○普段の利用と比較して、事業期間中の利用回数にどのような変化があったかを、交通手段別に設問しました。

①タクシーは「増えた」が最も多く47.5%で、「変わらない」の32.5%が続きます。

②鉄道は「変わらない」が最も多く52.5%で、「普段は利用していない」の20.0%が続きます。

⑦徒歩は「変わらない」が最も多く55.0%で、「減った」の17.5%が続きます。

項目	実数	5-①タクシー	5-②鉄道	5-③路線バス	5-④自家用車	5-⑤バイク	5-⑥自転車	5-⑦徒歩
増えた		19	3	2	0	0	1	4
減った		0	1	2	3	0	2	7
変わらない		13	21	11	6	1	8	22
普段は利用していない		5	8	19	24	30	22	0
無回答		3	7	6	7	9	7	7
合計(人)		40	40	40	40	40	40	40

項目	割合	5-①タクシー	5-②鉄道	5-③路線バス	5-④自家用車	5-⑤バイク	5-⑥自転車	5-⑦徒歩
増えた		47.5%	7.5%	5.0%	0.0%	0.0%	2.5%	10.0%
減った		0.0%	2.5%	5.0%	7.5%	0.0%	5.0%	17.5%
変わらない		32.5%	52.5%	27.5%	15.0%	2.5%	20.0%	55.0%
普段は利用していない		12.5%	20.0%	47.5%	60.0%	75.0%	55.0%	0.0%
無回答		7.5%	17.5%	15.0%	17.5%	22.5%	17.5%	17.5%
合計(人)		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

○本事業が本格(通年)実施した場合、「利用する」が92.5%です。残る7.5%は無回答のため、回答したすべての方が「利用する」としています。

〔SA〕		
項目	実数	割合
利用する	37	92.5%
利用しない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	3	7.5%
合計(人)	40	100%

利用する理由

①公共交通や自家用車等の代替手段として

- ・バスがないため（4票）
- ・自転車、徒歩が困難（11票）
- ・自家用車の運転に不安がある（1票）
- ・手荷物が多く、バスにのりづらい（3票）
- ・雪が降ってきたので助かった（1票）

②免許返納者

- ・免許返納して病院や買い物への外出が大変（1票）
- ・免許返納後タクシーだと、交通費がかかる（1票）
- ・免許返納後、タクシー利用が多くなるが、京王タクシーの個人契約も3月で終了するため（1票）

③経済性等

- ・経済的に助かる（６票）
- ・通院（４票）
- ・大変便利（２票）
- ・難しい手続きもなく利用することができる（１票）

○「この助成事業についての意見や感想」は以下に示すとおりです。(◎:効果 ▲:課題)

【継続希望】

- ◎続けてほしい（７票）

【公共交通の代替手段として】

- ◎路線バスやコミュニティバスが通っていないので、利用したい（４票）
- ◎料金割引でタクシーを利用してバスより早く家に帰ることができた（１票）

【自家用車・徒歩・自転車の代替手段として】

- ◎弱った体にタクシーが利用できてありがたく、運転手さんの気遣いもありがたい（２票）
- ◎病院の駐車場は満車が多く大変だが、タクシーだといつでも利用できる（１票）

【経済性】

- ◎交通費が大変重く、助かる（５票）

【運行事業者について】

- ▲駅から利用する時、京王タクシーでないタクシーが来た時利用できず歩いた（１票）
- ▲京王タクシー以外のタクシー会社にもこの制度の運用をお願いしたい（２票）

【利用時間帯について】

- ▲時間の幅があると良い（１票）
- ▲時間帯が７～１９時だったため、夜間に病院へ向かう際は不便（１票）

【対象地区について】

- ▲利用地域を増やしてほしい（１票）
- ▲成木、小曾木等が対象ではなく申し訳ない（１票）

【免許返納者】

- ◎免許を返納した時何も特典がなかったので、これで高齢者の免許返納が増えると思う（２票）

【助成端末（スマートフォン）の操作について】

- ▲スムーズな会計が必要（１票）
- ▲お得感が感じられずカード利用のありがたみを感じない（１票）

【その他】

- ◎大変助かる（４票）

5. 乗務員アンケート結果

(1) アンケート実施概要

- 本格実施を検討するうえでの参考にするため、乗務員アンケートを実施しました。アンケート票は下図のとおりです。
- 試行期間終了後に実施し、58票回収しました。

乗務員アンケート票

京王自動車株式会社青梅営業所 御中

マイナンバーカードを活用したタクシー運賃助成事業

乗務員アンケートへのご協力をお願い

標記のことについて、令和7年1月31日から3月31日までの試行期間中、ご協力いただき、深く感謝申し上げます。今後、本格実施を検討するうえでの参考にするため、乗務員の方々からご意見を頂戴いたしたく存じます。ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和7年4月
青梅市公共交通協議会・青梅市市民安全部交通政策課

【回答期限】
4月30日（水曜日）正午

「あてはまる項目に☑を入れてください。」

問1 試行期間中の助成対応の機会について

☐ あった
☐ なかった

問2 助成端末（スマートフォン）の操作について

☐ 簡単だった
☐ どちらかといえば簡単だった
☐ どちらかといえば難しかった
☐ 難しかった

問3 助成内容について

助成回数 1日2回、試行期間中合計10回まで
助成額 1人の場合：1回の乗車につき運賃の2分の1の額を助成（上限1,000円）
2人以上の場合：1回の乗車につき1人あたり500円を上限に助成

☐ わかりやすかった
☐ どちらかといえばわかりやすかった
☐ どちらかといえばわかりにくかった
☐ わかりにくかった

問4 試行期間中の実車回数について（試行前と比べて）

試行期間 令和7年1月31日から3月31日まで

☐ 増えた
☐ 変わらない
☐ 減った
☐ わからない

問5 試行期間中の対象地区内での乗降回数について（試行前と比べて）

対象地区 坂上、大門、堀船、谷野、木野下、今等、野上町、東青梅、根ヶ布、御園町、河辺町

☐ 増えた
☐ 変わらない
☐ 減った
☐ わからない

問6 その他、お客様からのお声や、本事業に対するご意見など、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

【問い合わせ】
青梅市市民安全部交通政策課 交通政策係 高橋・渡辺・木村

(2) アンケート結果

- 試行期間中に助成対応の機会が「あった」方は54人で93.1%です。

問1 試行期間中の助成対応の機会について

項目	実数	割合
あった	54	93.1%
なかった	3	5.2%
無回答	1	1.7%
総計	58	100%

- 助成端末（スマートフォン）の操作は、「どちらかといえば簡単だった」が最も多く43.1%で、「簡単だった」の32.8%が続きます。あわせて75.9%になります。

問2 助成端末（スマートフォン）の操作について

項目	実数	割合
簡単だった	19	32.8%
どちらかといえば簡単だった	25	43.1%
どちらかといえば難しかった	10	17.2%
難しかった	4	6.9%
無回答	0	0.0%
総計	58	100.0%

○以下に示す助成内容については、

助成回数	1日2回、試行期間中合計10回まで
助成額	1人の場合：1回の乗車につき運賃の2分の1の額を助成(上限1,000円) 2人以上の場合：1回の乗車につき1人あたり500円を上限に助成

「どちらかといえばわかりやすかった」が最も多く37.9%で、「どちらかといえばわかりにくかった」の31.1%が続きます。

「わかりやすい」とするユニットは約53%、「わかりにくい」とするユニットは約45%で、拮抗しています。

問3 助成内容について

項目	実数	割合
わかりやすかった	9	15.5%
どちらかといえばわかりやすかった	22	37.9%
どちらかといえばわかりにくかった	18	31.1%
わかりにくかった	8	13.8%
無回答	1	1.7%
総計	58	100.0%

○試行期間中の実車回数は試行前と比べると、「変わらない」が最も多く58.6%で、「わからない」の20.7%が続きます。

増減のみ着目すると、「増えた」は13.8%、「減った」は1.7%です。

問4 試行期間中の実車回数について
(試行前と比べて)

項目	実数	割合
増えた	8	13.8%
変わらない	34	58.6%
減った	1	1.7%
わからない	12	20.7%
無回答	3	5.2%
総計	58	100.0%

○試行期間中の対象地区内での乗降回数は試行前と比べると、「変わらない」が最も多く58.6%で、「わからない」の22.4%が続きます。

増減のみ着目すると、「増えた」は12.1%、「減った」は1.7%です。

問5 試行期間中の対象地区内での乗降回数について
(試行前と比べて)

項目	実数	割合
増えた	7	12.1%
変わらない	34	58.6%
減った	1	1.7%
わからない	13	22.4%
無回答	3	5.2%
総計	58	100.0%

○「その他、お客様からのお声や、本事業に対するご意見」は以下に示すとおりです。

(◎：効果 ▲：課題)

【対象地区について】

▲ 不服、不満の声が多く聞かれた（4 票）

【登録について】

▲ 本庁のみでの登録のため、不便との声が聞かれた（1 票）

【助成端末（スマートフォン）の操作について】

▲ システムの問題（車載端末の処理に手間や時間がかかる、マイナンバーカードを車載端末にかざすタイミングを乗車時だけでなく降車時も認めてほしい。）（10 票）

▲ 乗務員に手当をつけてほしい（3 票）

▲ 助成の受け方（利用者の口座へ入金、チケットにしてほしい）（6 票）

【継続希望】

◎ 今後も続けてほしい（2 票）

【その他】

◎ お客様には好評だった（1 票）

▲ 千円差し引きの残高を支払えばよいと誤解している方がいた（1 票）

▲ 対象地区外の業務が中心だったため、助成業務ができなかった（1 票）

6. まとめと今後の予定

(1)まとめ

○マイナンバーカードを活用したタクシー運賃助成事業の試行結果として、以下のとおりまとめます。

- ・75歳以上の方の登録が多く、運転経歴証明書所持者の登録が少ないことから、免許返納者への登録が多くなるような工夫が必要である。
- ・登録後、1回でも良いので利用していただく機会の創出が必要である。
- ・助成対象者が複数人で相乗りすることが少なく、助成対象者1人、または助成対象者1人と助成対象外の方が一緒に乗ることが多い。現行の制度が、複数人がまとまって移動できるタクシーのメリットを活かしきれていない可能性があることから、より、助成対象者が複数人で相乗りして移動したくなるような工夫が必要である。
- ・運行事業者との連携を強化し、事業やシステム、助成端末の操作にかかる理解を深めてもらう必要がある。
- ・本格実施開始後も、利用状況等を把握するとともに、本事業が運行事業者の実車回数に対し、どのような効果があるか、見きわめることが重要である。

(2)今後の予定

- ・令和7年6月1日 広報おうめおよび青梅市ホームページにて、試行結果の周知記事を掲載
- ・7月(予定) 第56回公共交通協議会にて、本格実施に向けた協議
- ・10月(予定) 本格実施開始